

スマートシティを手軽に始めるためのプラットフォームを提供します。(総務省・国土交通省 採択事業)



IT人材不足・予算不足の自治体でも無料や低額でスマートシティをスタートできるコンパクトスマートシティプラットフォーム(CSPF)の実装・実証を行い、全国で住民のQoLの向上および地方創生を目指す自治体を支援するプロジェクトです。基本となるCSPFは自治体に無償で提供されます。

コンパクトスマートシティが必要な理由：負のスパイラル構造



自治体の悩み

- (1) 住民が住みづらい (QoLの低下)
 - ・街の利便性が上がりず住民の満足度が低い
 - ・子供を安心して育てられる環境が整っていない
- (2) 地方でビジネスをするメリットが少なく、新しい産業が起きない (雇用が生まれない)

税収の減少

- (1) 人口流出により住民税が減る
- (2) 新産業が生まれず法人税が減る

都市整備ができない

- (1) 税収(収入)が安定しないため、都市整備の予算がない
- (2) 自治体の悩みが深まる

結果、住民は大都市圏等の利便性の高い地域に移住する

自治体



住民



企業



公民共同で誰でも作れるスマートシティに向けて



コンパクトスマートシティプラットフォームは日本をスマートシティ先進国にし、地域活性化を支援します



循環するスマートシティサービスの輪

